



第1回小扉 脱原発社会 - 原発事故から見える社会のかたち

雑誌名	東西南北：和光大学総合文化研究所年報
巻	2012
ページ	218-218
発行年	2012-03-19
URL	http://id.nii.ac.jp/1073/00001281/

第1回ティーチン

2011年5月19日（木）14：40～17：30 E棟コンベンションホール

脱原発社会 ―原発事故から見える社会のかたち

原発事故から見える社会の形と、その形を作りかえていく人びとの想像力、そして実践について議論する。開発・公害・汚染・地域社会の解体といった近代社会、とりわけ高度成長以後の日本社会が抱えてきた問題をふりかえりながら、これらの問題が原発を抱え込んだ現代社会においてどのように極限化しているのかを話し合っていきたい。

発題：「脱原発社会を考える」

山口幸夫 原子力資料情報室共同代表

発題：「いま・ここにある脱原発社会」

ロバート・リケット 現代人間学部教授

